

ポスト・コロナ期の地方公務員のあり方に関する研究会（第11回）

佐賀県庁における採用の取組

令和5年5月12日(金)

佐賀県 総務部 人事課 課長 寺田博文

1. 佐賀県庁が求める人材
2. 採用試験の状況
3. 人材確保の取組
4. 多様な働き方、育児との両立の支援
5. 課題と今後の方向性

1. 佐賀県庁が求める人材

時代とともに変わる県庁のあるべき姿

昭和の時代

画一的な行政運営

法令等に基づいた正確な事務処理能力

地方分権改革の進展
人々の価値観の多様化

今の時代

自らの裁量で自由な行政運営

多様な価値観を持つ県民一人一人の
幸せを追求すること

県庁職員に
求められる能力

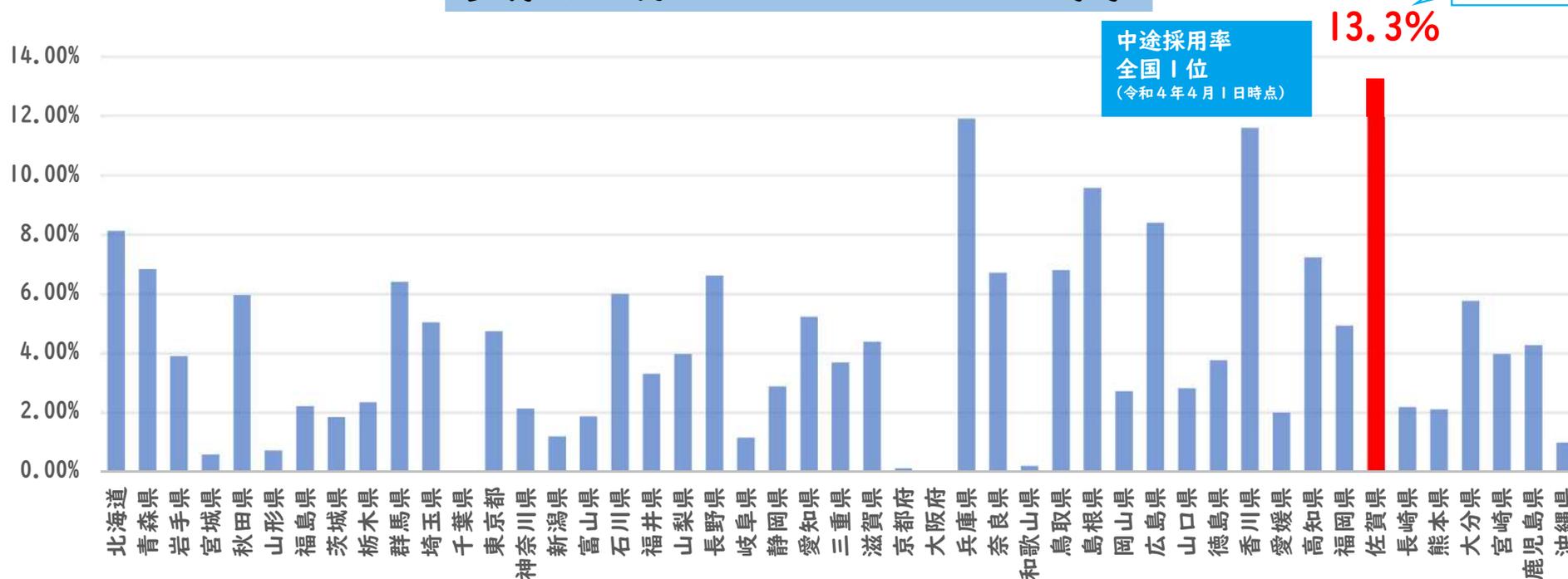
これからの県庁

自由な発想で、未来を見据え新たな価値を生み出す、イノベーションを起こす組織

1. 佐賀県庁が求める人材

新卒者に限らず、民間企業の経験者を含め多様なキャリアを持つ職員を積極的に採用

多様な人材がイノベーションの源泉

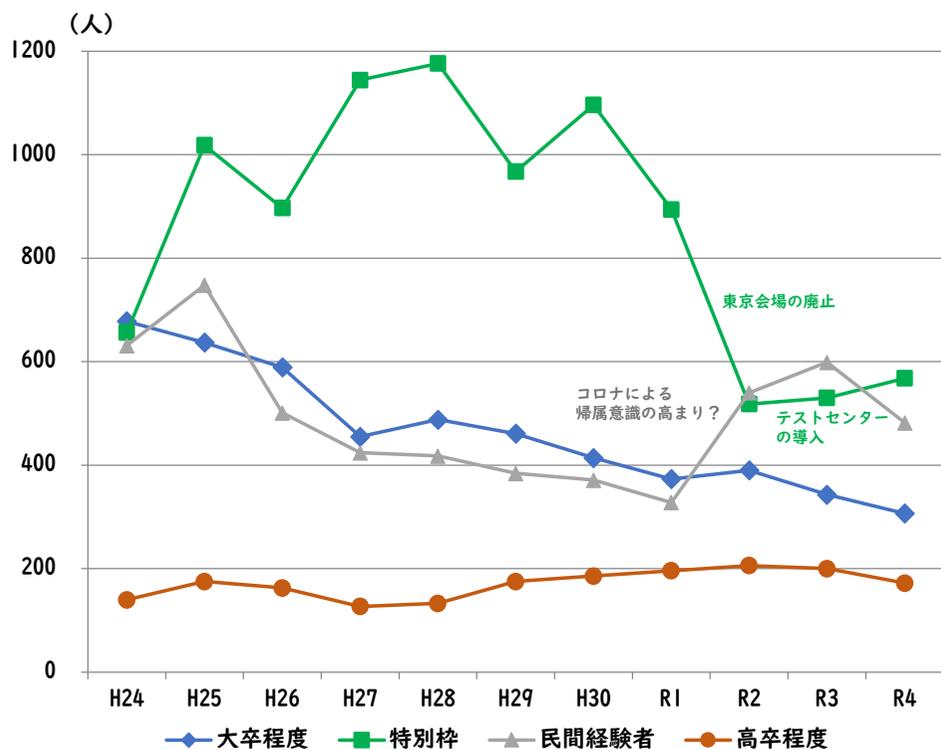


令和4年4月1日時点
全国照会結果

中途採用の職員の多様な新しい力が加わることで、様々な分野で、新たな「モノ」や「コト」が生まれる組織へ

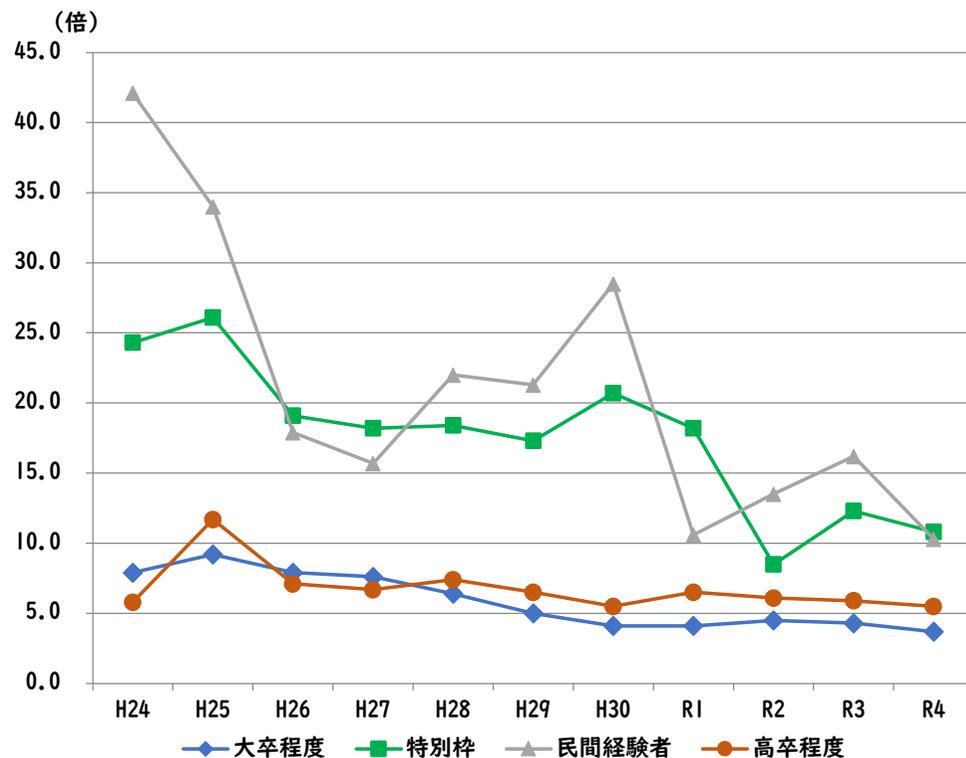
2. 採用試験の状況

受験者数（試験別）



特別枠・民間経験者 : 増減はあるもののピーク時から減少
大卒 : 減少傾向
高卒 : 堅調な微増傾向

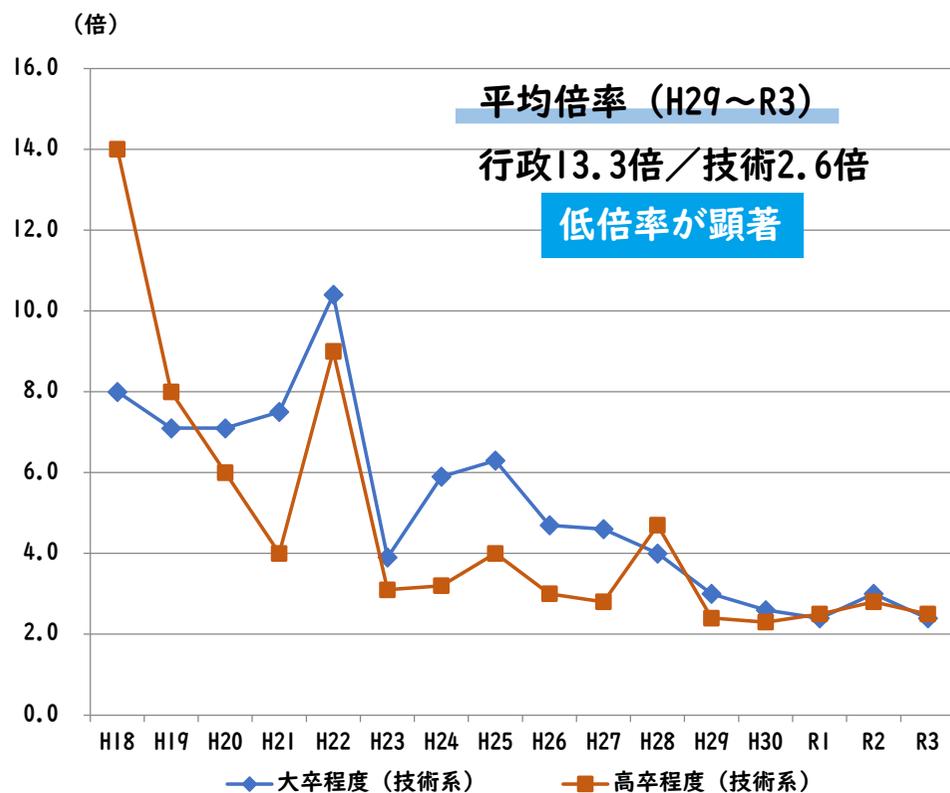
合格倍率（試験別）



全体的に減少傾向

2. 採用試験の状況

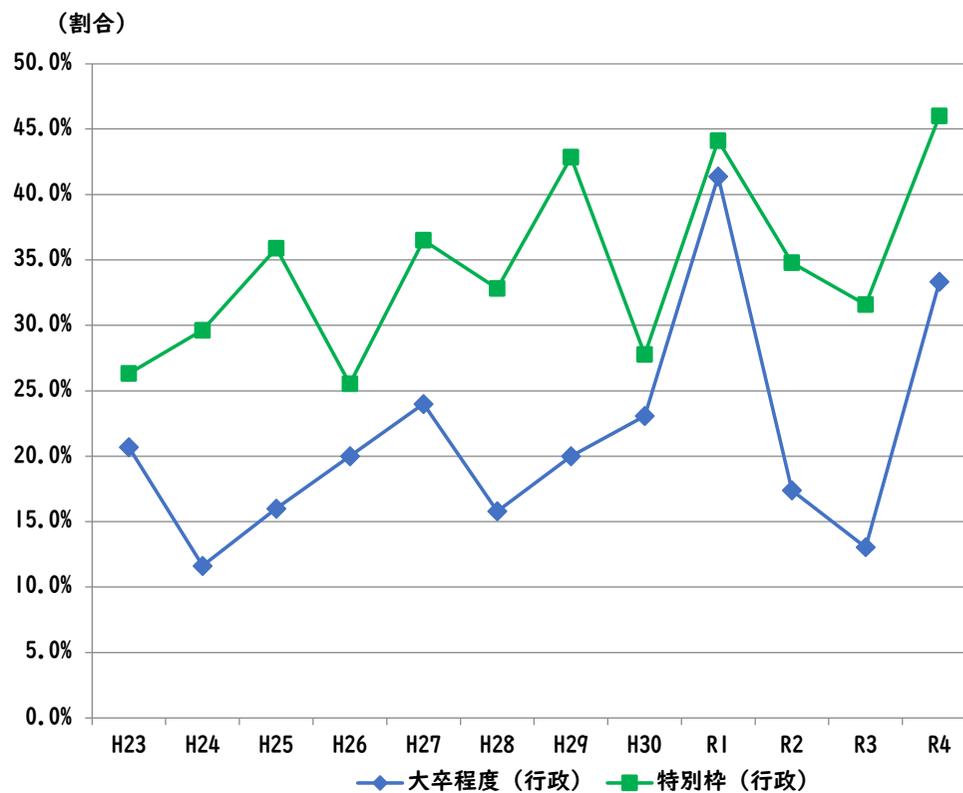
合格倍率（技術系職種）



低い水準で推移

【参考】

辞退率（行政）



最終合格後の辞退が多く発生

3. 人材確保の取組

I 試験制度の多様化

(1) 多様な人材の確保

民間経験者(行政)	UJIターン枠（県外企業等における勤務経験5年以上）／社会人経験枠（職務経験不問）
民間経験者(技術)	UJIターン枠（県外企業等における勤務経験5年以上）
特別枠(技術)	民間企業志望者（教養試験の非公務員化、試験スケジュールの前倒し）
スポーツ特別枠	スポーツ分野で優秀な成績を収めた者

(2) 受験しやすい試験を実施

特別枠(行政)	テストセンター方式
民間経験者	教養試験の廃止
一部技術職	完全Web試験

民間企業等で導入されている試験問題を使用
いつでも、どこでも受験可能（所定の期間、所定の場所）
試験対策の負担軽減
書類選考で多様な経験をアピール
受験の負担軽減

II インターンシップ

県庁での就業体験により、受験意欲を向上させる。

R2インターンシップ参加者
半数以上が採用試験を受験

今後の在り方
要検討

3. 人材確保の取組

Ⅲ 広報（情報発信）

佐賀県職員として働く魅力を情報発信し、受験に繋げる。

(1) 採用サイトの刷新



トレンドを意識した
サイトデザインへ

公務員という
職種はない。

公務員

「佐賀県職員」
として
働く魅力を可視化

採用サイトは
こちら



私は、公務員です。



私は、公務員です。



私は、公務員です。



私は、公務員です。



私は、公務員です。



私は、公務員です。

この他、プロジェクトストーリーも掲載。

3. 人材確保の取組

(2) お仕事ガイダンス



- ・佐賀県庁の取組や県職員の魅力を紹介。
- ・令和2年度 オンライン開催 参加者107名
(前年度比 約1.7倍)
- ・令和4年度から、リアルとオンラインのハイブリッド方式により開催
- ・事務系、技術系を分けて開催。

(3) 技術系バスツアー



土木



農政



農業土木

- ・佐賀県職員として働くイメージを持っていただくため、実際の仕事現場を案内。

【実施職種】

土木、農政、農業土木、林業

- ・令和4年度 参加者20名

3. 人材確保の取組

(4) 説明会等への参加

＜令和4年度実績＞

- 合同説明会 13件
- 個別説明会 11件



理系学生のための就活直前EXPO 福岡会場
 開催日：2023年2月9日(木)
 会場：マリンメッセ福岡
 出展社：34社
 学生数：179名（うち佐賀県ブース11名）

(5) 就職支援ツールの活用

＜例＞

YouTube企業説明会
 『ONE CAREER LIVE』（一社独占LIVE）



40分程度のyoutube生配信番組
 配信以降1年間はアーカイブあり

- ・事前申込数：1426名（平均：1580名）
- ・最大同時接続数：151（平均199.8）
- ・視聴者満足度：9.54/10（平均9.0程度）

この他、各就職サイト（新卒・転職）に掲載。

(6) SNSの活用

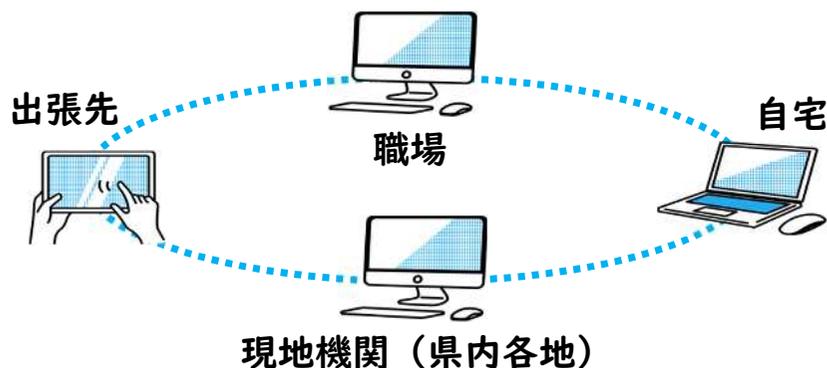
各SNS、Web上での戦略的な広報を実施



4. 多様な働き方、育児との両立の支援

快適なテレワークの実現

時間や場所に捉われない柔軟な働き方
2008年からテレワーク導入、今年で15年目



充実した妊娠、出産、子育てを支える制度

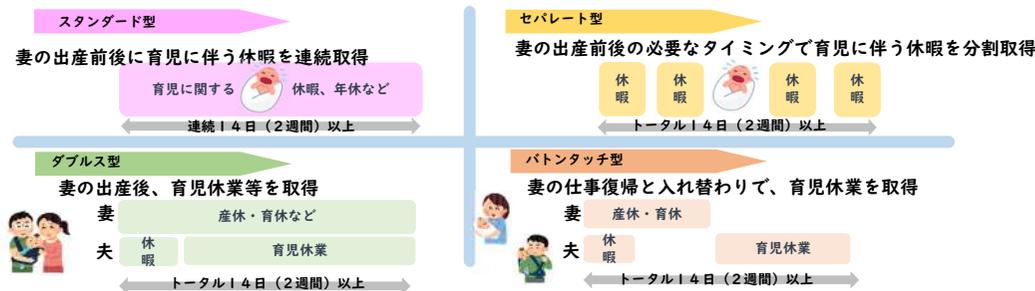
ハッピー・ツー・ウィークス



男性職員の2週間以上の育休等取得を促進する取組
生活スタイルに応じた取得パターンを職員に提示
子どもが生まれた全ての職員にHappy Cardを贈ります



取得率100%
(令和4年度実績)



～ハッピー・ツー・ウィークス不取得理由書あり～

柔軟な勤務形態の設定

勤務時間の割振変更

日単位で勤務時間帯の変更が可能。(12パターン)

早出・遅出勤務

理由を問わず、早出・遅出勤務が可能。(前後1時間)



多様な働き方、育児と家庭の両立を支援

5. 課題と今後の方向性

課題 働くイメージの周知 採用辞退 民間企業等との競合 試験対策の負担感

今後の方向性

- ・就職先として選んでいただけるよう、佐賀県職員として働く魅力を発信。
- ・働きやすい、チャレンジしやすい、佐賀県の職場環境を発信。
- ・インターンシップのあり方を含め、早期化する採用活動へ対応。
- ・多様な人材の確保を意識し、試験制度のさらなる多様化。



SAGA 2024 国スポ 全障スポ
新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



**PROJECT
IDEA
2024**

国体から国スポに変わる今
みんなで何ができる？

母親向け相談アプリ



歩こう。佐賀県。



さがデザイン
さがをかえる しゅみをかえる



みらい
つながる。
Tゾーン。

